

りくつ
な
あ

安原工業団地協同組合会報

YASUHARA INDUSTRIAL PARK
COOPERATIVE SOCIETY
NEWSLETTER
NO. 24

平成 30 年 3 月 1 日発行

2018.3
第24号

発行 安原工業団地協同組合
〒920-0377
金沢市打木町東1400番地
(金沢市異業種研修会館内)
TEL (076) 240-1411
FAX (076) 240-1903

りくつ
な
あ



異業種研修会館に 臨み望む

金沢市異業種研修会館

館長 太田 富久

異業種研修会館の館長に就任して一年近くになりますが、本来、生薬学・天然物化学という自然に由来する医薬品素材や食品素材の有効性成分の探索と研究開発が主たる活動である身にとって、工業団地の一角にあるという立地は経験したことがない見知らぬ環境に迷い込んだような不安でいっばいのスタートでした。幸いなことに、団地組合には居住地の隣組の知人がいらっしゃったり、大学における研究の委託先企業にご紹介いただいた2企業の役員様が構想しておられた新たな金沢ブランドプロジェクトの立ち上げをご一緒に検討させていただくことになったりと、今までの研究環境では難しいだろう繋がりを得させていただいております。

医薬品・食品素材の分野での異業種交流は実は15年以上の経験がありまして、経済産業省が始めた産業クラスター政策に乗ってスタートした産学官連携事業研究会のお世話をしてきました。中部経済産業局北陸支局、北陸3県の企業、また、大学や病院を含む研究機関など46組織からなる北陸ライフケアクラスター研究会の創立メンバーとして食品・化粧品分野での新産業創生や産業振興あるいはネットワークづくりに従事してきました。

産業クラスター政策の一環として立ち上がった北陸3県横断型のクラスター研究会は4研究会あり、北陸ライフケアクラスター研究会の他に、北陸マイクロナノプロセス研究会、ほくりく先端複合材研究会、ほくりく環境・バイオマス研究会と広い産業分野をカバーしています。4研究会の共同事業が私にとって異業種交流の先鞭となりましたが、振り返ってみると産官学連携に基づく産業振興も異業種交流事業も並行して同じ流れに乗っており、人的ネットワークすなわちヒトとのつながり方が大きいかだを組み立てる基になるのだと感じております。産業界の大きな流れの中で近くを並走していたヒトがいつの間にかずっと先に行っていたり、これまで全く見えない流れにいた分野の方々と思いがけないチームを作ったり、あるいは遠くから知恵や素材を投げかけてくれたりと、諮ったり計ったりしては得られない繋がりが出来上がるさまはまさに異業種交流の原点であり妙味とも言えるかもしれません。

金沢市異業種研修会館の役割としてはものづくり産業振興のための産学連携事業があり、中小企業のものづくりのサポートも使命となっていて、産学連携ものづくり技術交流塾が開催されています。金沢市異業種研修会館がヒトとヒトとのネットワークを形成するよりどころとなってそれぞれの事業が進み、金沢市が進める産業振興政策に役立つことが望まれます。

平成30年 今年もなごやかな新年会

平成30年1月6日(土)、安原工業団地組合と町会の合同新年会がこれまでの金沢都ホテルから金沢東急ホテルに場所を変え、83名参加で開催されました。

米澤卓也理事長と中田良治町会長から年頭のあいさつの後、ご来賓の方々の紹介がありました。金沢市長代理の吉田康敏金沢市経済局長から、市長の祝賀メッセージを交えた祝辞に続き、下澤佳充石川県議会議員から祝辞を賜り、西川昇安原地区町会連合会長による乾杯のご発声で宴に移りました。

今年は、アトラクションはありませんでしたが、宴が始まって間もなく、山野之義金沢市長がサプライズの如く登場され、改めて年頭のご挨拶を頂きました。市長



は、近くで開催の新年会を中座されてわざわざ駆けつけて下さったそうですが、すべてのテーブルへお声を掛けてくれたので出席者の皆さんも喜ばれて大変盛り上がり、楽しく賑やかな新年会となりました。



楽しい時間は早く過ぎ、宮本清志次期町会長の中締めでお開きとなりました。

昨年引き続き司会をして下さった新川基理事、大変お疲れ様でした。

組合員、町会の皆様にとって良い一年となりそうです。

企業経営動向に関するアンケート調査報告 ～景気は緩やかに回復している～

毎年、恒例となる組合員各社の経営動向調査のアンケート結果が集計されました。

調査は全組合員対象で189社のうち95社(50.26%)から回答がありました。その結果については先にお知らせしたとおりですが、前年度調査と比較して、「売上高増加」「採算性好転」のポイントが高くなっており、「資金繰り余裕」「現時点の景況感いい感じ」もポイントが増加しているところから、団地内では、経営が順調な企業が多い事がうかがえ、景気は緩やかに回復している実感を得ているのではないのでしょうか？ただ、「仕入価格上昇」のポイントが前年度より大幅にあがっていることから、利益が圧迫されている企業もあると思われます。

内閣府1月の月例経済報告では、「海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。」という見解が出ているので、組合員の皆様におかれては国内外の経済情報の把握により、無理のない堅実な経営に努めて頂きたいと思います。

平成29年文化講演会 地域から特殊詐欺被害追放



平成29年11月14日(火)、金沢市異業種研修会館に組合員のほかに安原地区の各種団体の方々の参加を得て76名が集まり、石川県警察本部生活安全部生活安全企画課の冬至康人警部から、「特殊詐欺の現状と対策」と題して文化講演会を開催し、特殊詐欺の被害に遭わない心構えを学びました。

自分や自分の家族に限って、絶対に詐欺被害に遭わないと自信を持っていた人も、最近実際に行われている巧妙な手口を講演で知るに及び、驚きとともに自信が揺らいだ人も少なからずいたのではないのでしょうか？

講師の冬至警部は、職務に忠実な正義感溢れる熱血漢で、ユーモアを交える語り口の端々にも住民を守ろうとする思いが滲み出て、石川県警の被害撲滅に対する代弁者としての懸命さが伝わってきました。

今回の講演会が、地域の面積が広く、また、高齢者も多いこの安原地区で継続した話題として広まり、特殊詐欺被害に遭う人が出ないことを、組合も警察機関とともに念じております。

秋晴れのもとで、第38回ソフトボール大会

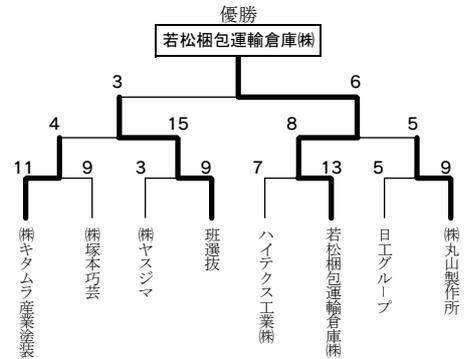
平成 29 年 9 月 3 日(日)、安原小学校グラウンドにおいて、安原工業団地協同組合主催・安原工業団地町会協賛にて、第 38 回ソフトボール大会が行われました。

企業 7 チーム、班選抜 1 チームの計 8 チームが、初秋の晴天のもと、日頃の運動不足を忘れて、白熱したトーナメント戦を楽しみました。

決勝では、健闘した班選抜チームを若松梱包運輸倉庫(株)チームが安定した試合運びで破り、見事に V4 を達成しました。



優勝 若松梱包運輸倉庫(株)
 準優勝 班選抜
 3 位 丸山製作所
 (株)キタムラ産業塗装



平成29年 信越の先端企業にて視察研修

当組合が、金沢市工業団地連絡協議会と合同で企画している今年度の視察研修は、10月13日(金)・14日(土)に上越市と長野県埴科郡で行われ、米澤理事長を含め6名が参加しました。

上越市では、上越ものづくり振興センター所長より中小企業振興施策について伺った後、都市ガス・LPガス元栓金具や継手メーカーの光陽産業(株)を企業見学しました。金沢市企業局も得意先とのことで、安全性と耐久性が重視される高品質の製品づくりを見学しました。最近が高い技術力を応用した新たな製品が、新幹線や航空機に使用されていることの紹介もありました。

長野市に隣接する埴科郡では、プラスチック射出成形

機のリーディングカンパニーである日精樹脂工業(株)を訪問しました。他へ頼ることなく自力で画期的な射出成形技術を開発し、国内外のシェア拡大に取り組んでいることのプレゼンを受けた後、工場で電気式、油圧式、その両方を取り入れたハイブリッド式の製造過程を巡り、最後に完成前検査をしている製品を見学させて頂きました。

今回の視察先は、高度な独自技術の開発を駆使して、豊かな社会づくりに貢献しながら発展し続ける、ものづくり企業2社でした。

夜は、温泉付きホテルで日頃の疲れを癒し、参加者と楽しく懇談しました。



第7回安原工業団地組合 町会合同ゴルフ大会

ゴルフクラブツインフィールズにおいて、10月9日(祝)に、今回7回目となる組合・町会合同ゴルフ大会及び親睦会を開催しました。

天候にも恵まれ、日頃の練習の成果を存分に発揮すべく、のびのびとゴルフを楽しむことができました。

10組39名と多数の方にご参加いただき、ステンレス株式会社 福田祐一さんが優勝し、バスマグロは株式会社佐々木塗装工業 新川真さんで、スコアは81でした。

懇親会においても、各テーブルでゴルフ談義が盛り上がり、団地内の親睦もより深まったようでした。

今後もゴルフを通じて皆様の交友関係がさらに強いものとなるよう、当ゴルフ大会を継続しておこなってきたいと思います。

第5回若者交流会

平成 29 年 8 月 26 日(土)、ダイニングバー JIMHALL にて 50 歳以下の従業員対象の「若者交流会」を開催しました。今回は、幅広く交流できるよう企画した結果、64 名の男女が集まりました。三島部長から開会の挨拶後、懇親会が始まり、ビンゴゲーム、カメレオンキャッチゲーム、後出しジャンケンゲームによる景品獲得で大いに盛り上がり、一気呑みも出るくらいでした。

やはり若者はパワーと活気があり、安原工業団地の支えになっていると実感しました。今後も内容を検討しながら、若者が交流できる会を継続して開催していきたいと思ひます。

仕事も、恋も、まずは「動くこと」が大事かも知れませぬね!

家を飛び出して出掛ければ、そこに恋の種があるかも?

女性部 活動報告

9月9日(土)

【第1回研修会】

お醤油産地の大野町を訪れました。ヤマト醤油さんを15名で訪れ、醤油ができるまでを学び沢山の種類の醤油を見せていただきました。今日では醤油を作るための麴をつかったアレンジ商品があり、主婦には興味深いものが沢山ありました。その後、とんぼ玉作り体験をしました。ガラス玉に火を付けパチパチ焼ける様子を怖がりながらも、なんとかわいらしいストラップの出来上がりでした。

なお、このストラップは安原公民館文化祭に出品しました。



11月1日(水)

【中央会女性部活動(訪問事業)】

～魅せよう!元気で輝く女性力!～がテーマの中央会活動事業に3名が参加しました。

石川県化粧品小売協同組合女性部様、SPCJAPAN 北陸事業協同組合なかよし会様と白山一里野温泉観光協会おかみの会の事例発表と意見交換会のあと、吉野工芸の里にてモザイクガラス作り体験と白山白川郷ホワイトロード～ふくべの大滝～を視察しました。

11月10日(金)

【花いっぱい!飾花推進活動】

幹線道路のプランターに葉ボタンの植え替えをしました。今年は古くなったプランターを全て新しいものにしました。お忙しい皆さんの目にとまれば幸いです。

11月16日(木)～17日(金)

【中央会全国フォーラム】

ホテル雅叙園東京にて全国の女性経営者と共に「地方創生に果たす女性経営者の役割」と題した基調講演等を聴き、翌日には銀座にある石川県のアンテナショップを訪れました。当組合からは2名が参加しました。

12月8日(金)

【会員家庭にシクラメンを】

毎年恒例になっている、会員各家庭にクリスマス気分を味わっていただくこと、シクラメンを配布しました。

2月16日(金)

【第2回研修会】

ヴィラ・グランディスウェディングリゾートにて、片町で創業37年を誇るスターハウス HO-JYO の北城氏をお招きし、北城氏のこれまでの生き方とお店を事業承継した後の生き方について、途中シャンソンをはさみながら講演して頂きました。

素敵な歌声を堪能しながら、経営者という立場で共感できる苦労話や涙をそそる感動のお話を拝聴しました。



青年部 活動報告

8月26日(土)

【第5回若者交流会】

片町、ダイニングバー JIMHALL で、組合員企業の従業員を対象の「若者交流会」を開催。50歳以下の男女64名の参加があり、ゲームや自己紹介などで大変盛り上がりました。

「若者交流会」は今回の企画を参考に継続開催していきますので、ご参加をお待ちします。

9月3日(日)

【ソフトボール大会】

安原小学校グラウンドにおいて安原工業団地協同組合主催、安原工業団地町会協賛にて第38回ソフトボール大会が行なわれ、青年部で設営、運営をさせていただきました。

9月23日(土)

【3団地青年部対抗親睦ゴルフコンペ】

朱鷺の台カントリークラブにおいて、平成29年9月23日(土)に安原工業団地協青年部・石川県鉄工団地協青年クラブ・旭丘団地協V21による「3団地青年部対抗親睦ゴルフコンペ」が開催され、当青年部は7名が参加しました。

昨年、当青年部は最下位だったので捲土重来を誓い、参加者全員で頑張りましたが、相手が勝り本年度も脱出は果たせず来年度も幹事が任されました。

プレー中は和気あいあいと楽しみ、組合同士の親睦を深める貴重な機会となりました。有志で片町の第2部へ繰り出し、青年部活動について意見交換をするなどで、さらに交流を深めました。



2月17日(土)

【青年部新年会】

平成29年度新年会を、「博多もつ鍋 龍」にて開催し、14名の参加がありました。

三島部長の挨拶に続き、本保幹事長の乾杯の音頭にて会を進め、今年度の方針である部員間の交流を深め、今後なおよ層事業に参加してもらえる青年部活動にしていこうと、堅い結束を図りました。

あ と が き

平成30年になって2カ月が過ぎました。今年は7年ぶりの大雪に見舞われましたが、草木萌動候。平成29年度のしめくくりを良いフィニッシュで迎えたいものです。

さて「りくつな」第24号の発刊ですが、この会報誌は安原工業団地協同組合が運営しているHPにもアップされます。つまり、全世界に発信される訳です。

安原工業団地協同組合もWorld Wideに・・・

夢は大きく“世界に羽ばたく!!”といきませんか～ (N・I)

発行責任者 米澤 卓也
編集委員 岩上 伸人、金谷 尚次、田中 泰、野村 洋
三島 克也、新川 基、北川 和男、山口 美枝子